

学力向上に向けた取組

函館市立的場中学校

1 課題

- 家庭学習の習慣化
- 望ましい生活習慣の育成

2 課題解決の具体策

- ①家庭学習の習慣化を目指した「チャレンジタイム」の実施
→北海道教育委員会主催の「チャレンジテスト」への参加
- ②各教科による宿題の工夫
- ③「生活実態調査」の実施
- ④「食に関する授業」と「みそ作り体験」の充実

3 取組の概要

①について

漢字についての30問程度の練習プリントを配布し、家庭学習として毎日取り組む。2週間後に取り組みの成果を「チャレンジタイム」（検定テスト）で確認する。

②について

数学科による「ポイントラリー」制度や、社会科によるノート提出などを行い、家庭学習の習慣の確立や、基礎学力の向上に努めている。

③について

道教委で奨励している「早寝早起き朝ご飯運動」の取り組みを行っている。定期テスト前に毎日、一日の過ごし方を記録し、保護者からコメントをもらって担任に提出させる。

④について

自分の生活や将来の課題を見つけ、望ましい食事の仕方や生活習慣を理解し、自らの健康を保持増進できるように、食に関する授業を実施している。

みそづくりをすることで、日本の伝統的な食品に興味や関心を持たせ、日本の食文化を見直す機会としている。できあがったみそは、給食で試食している。

4 成果と課題

- 「早寝早起き朝ご飯運動」に関しては、ほとんどの家庭に浸透した。
- 家庭学習の習慣化がなされ、学習に関する意欲も向上した。
- 家庭で携帯やTV等を見て過ごす時間が、全国平均より多い傾向がまだ改善されていない。